

# しきなん

## みんなで規範意識を育てましよう!

保護者の皆様は、子どもたちの健やかな成長を願って、毎日、一生懸命に子育てをされていることと思います。その中で、新しい発見や確かな成長から喜びを感じていることでしょう。しかし、急激な社会の変化にとめない、子どもたちを取り巻く環境も変わり、驚きや戸惑いを感じたこともあるのではないかと思います。先日も子ども地域の生活上の問題を学校から発信しましたが、学校と家庭、地域の円滑な連携で規範意識をより育てる必要性を感じます。大人からみて悪いと思っていることでも、とかく子どもは体験不足により物事の本質を理解できず、また、理解はしているも、「ちよつとくらいは」見つけられなければ」という気持ちが強くて安易な行動をとってしまうがちです。実はこうといった問題は、今、全国的に子ども達の発達課題となつてきているのです。

### 敷島南小学校

それでは、規範意識の向上へのアプローチですが、自分自身の行動を静かに振り返ることから始まります。子どもは失敗をしながら成長していくのですが、大人や学校が、そこで見逃すか、向き合つて対応するかは大きな問題です。学校という集団や社会のルールを守るのは、みんなが、楽しく気持ちよく生活するためにあること、また、社会の中でともに生きていく人間にいやな思い、辛い思いをさせてはいけないことを失敗した時にこそ教えるべきです。そして、相手や周囲の人にどんな責任をとるのかをじっくり時間をかけて、気付かせたいものです。さて、このような子ども達に日常、どんな取り組み



を行っているかですが、本校では異年齢集団による縦割り班活動に重点を置いています。核家族化、少子化し、さらに群れをなして屋外で遊ぶことが少なくなつていの中で異年齢での活動は社会性を養い、コミュニケーション能力を身につける大きな利点があり、規範意識の向上にもつながります。このほか、学校が家庭と連携していききたい点を三



- ① 家族や友達に自分を理解してもらつていいる安心感や大切にされている満足感を与える。
- ② 自分以外の人のために尽くす社会貢献の気持ちを育てる。(自発的なボランティア活動は有効)
- ③ 多くの人と喜びや苦勞を共にして、人とのつながり

### を大切にする。

### ありがたい家庭・地域からの情報

先日、ある敷地内のエアガンでの遊びや田んぼでの出来事をはじめ、ご家庭や地域の方の学校への連絡によつて事実を把握することが多く、大変ありがたいです。子どもの校外での様子はなかなか把握できないのですが、迅速な対応、早期発見の意味で、学校での生徒指導に実に有効です。今、都市化の広がりで学校と地域との関係も疎遠になりがちといわれており、地域での人間関係も希薄化していることが指摘されています。したがつて、地域の方からの、子どもへの注意、叱責が少なくなりつつあります。こうしたなかで、本校は地域(家庭も含む)の協力体制があり、「地域の子どものは地域で育てる」風潮があります。先日の連絡である方が「私は子どもは憎んでいない。ただ、子どもが大げがをしてはかわいそうだから」私はその電話のお声に本

当に胸が熱くなりました。これからも、子どものほめるべき出来事も含めてご連絡をいただけるようお願いいたします。学校も、教職員の情報交換・共通理解を徹底し子ども達の健全な成長のために頑張ります。

### 児童引き渡し訓練あがつつていきました

五月十四日の児童引き渡し訓練にはほぼ全員の保護者をはじめ、祖父母・地域の皆様にもご協力をいただき感謝申し上げます。今回は関東地震注意情報が発令されたことを想定した引き渡し訓練でした。職員による具体的な引き渡し方法を示しましたが、本番さながらの訓練となり、避難訓練の児童も実に整然と「おかしもち」を実行でき貴重な機会となりました。(文責 伊藤)

